

幕張西地区 区民対話会

◆日時:平成26年11月30日(日)

13時30分～15時00分

◆場所:幕張西公民館 講堂

1

【テーマ】

地域の将来像と担い手

～持続可能な地域コミュニティの構築～

2

地域コミュニティとは

日ごろの生活や活動を通じて作られていく、
地域の住民や団体どうしのつながりや
顔見知りの関係



自分たちの住んでいる地域を、
みんなの力で自主的によくしていく

3

地域コミュニティの必要性

環境の変化

- 少子高齢化＋単身世帯の増加、子どもの安全、
防災防犯
⇒「地域」で支えていく必要のある世帯の増加
- 東日本大震災
⇒日頃からの身近な人同士の交流の大切さの
再認識



地域コミュニティの必要性は以前よりも
高まっている

4

地域コミュニティの現状

身近なところで増加する社会問題

- 高齢者の所在不明問題
(消えた高齢者)
- 高齢者の孤立死 年間1万5千人
- 認知症行方不明者 年間1万人
- 児童・高齢者虐待…

地域活動の低下

- 町内会、自治会の加入率低下
- 新住民、若い世代等の地域活動への参加が低調
- 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった自助・共助機能の低下

地域コミュニティの力が弱まっている
地域の住民同士のつながりが希薄化 ⇒ 無縁社会

地域コミュニティの力はなぜ弱まったか

考えられる理由

- 少子高齢化、人口減少
- コミュニティ活動のきっかけとなる子どもの減少
- 価値観やライフスタイルの多様化
- 地域への愛着・帰属意識の低下
- 昼間に地域にいないことによるかかわりの希薄化
- …

このままいくと...

- 特定の人だけが地域活動を行う
- 地域団体の役員のなり手がいない
- 役員の高齢化、固定化⇒負担が集中



- 役員の高齢化、少数化によるさらなる活動低下
- 役員が培ったノウハウが継承されない



地域コミュニティの継続が困難

今はよくても将来はない...

7

地域の目指す将来像を考えてみましょう

例えば...

世代を超えたつながりと幅広い連携により地域活動が充実するまち



- 高齢単身者と地域がつながる機会の増加、拡大
- 子育て世代、若い世代の地域活動への参加の拡大
- ボランティアや大学等と連携する地域活動、団体の増加

8

もう少し具体的に、理想の地域生活を想像してみましょう

例えば...

- どこでもいつでも「挨拶」がある
- 誰でも参加できる楽しいイベントがある
- まちの美化などみんなが活動する
- 災害時などのもしもの備えがある
- 安心の見守りや支え合いがある

→本日の意見交換で、みなさんの考えをお聞かせください

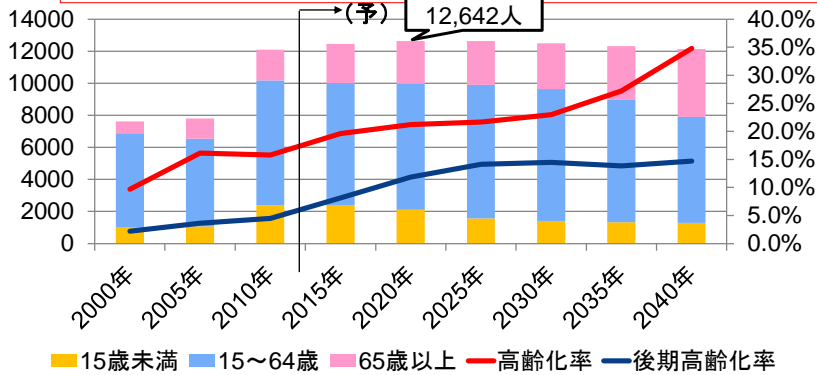
9

幕張西地区の現状

10

将来推計人口・年齢別人口構成

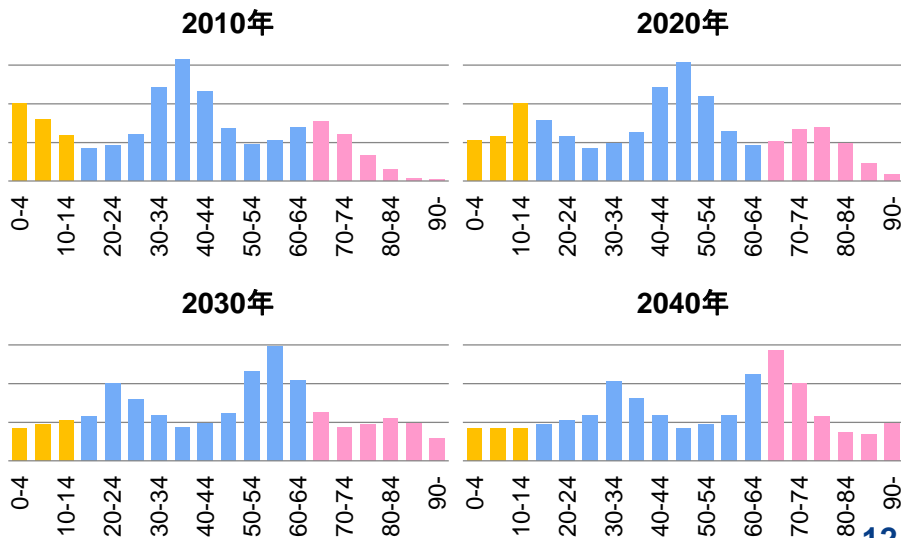
- 地区の人口は、2040年まで12,000人程度で横ばい
- 高齢化率は、2030年から2040年にかけて急増し約35%に
- 後期高齢者(75歳以上)の占める割合は14%台で推移(ただし、2050年以降に急増する見込み)



出典: 2000年、2005年、2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

11

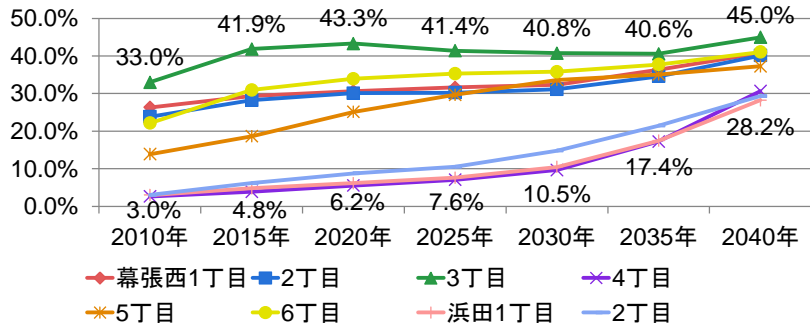
年齢別人口構成の将来予測



12

高齢化率の将来予測

- 幕張西3丁目は既に高齢化率が高く、今後も40%台で推移
- 幕張西4丁目、浜田1丁目・2丁目は2040年に30%前後に

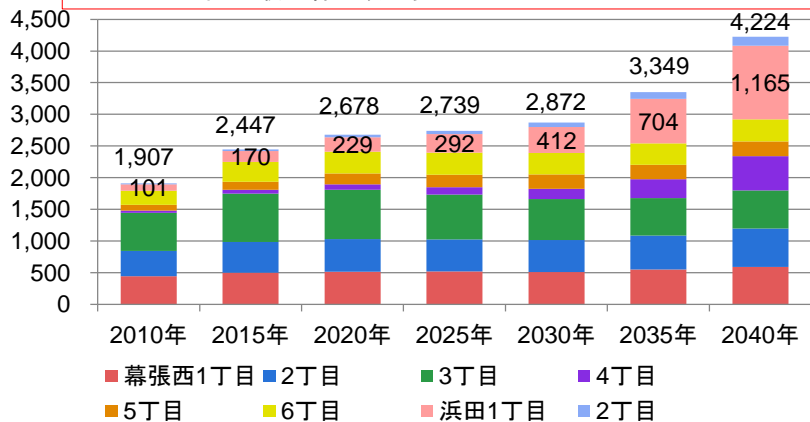


出典: 2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

13

高齢者数の将来予測

- 高齢者数は一貫して増加、2030年から2040年にかけて急増
- 浜田1丁目は最も増加数が多い



出典: 2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

14

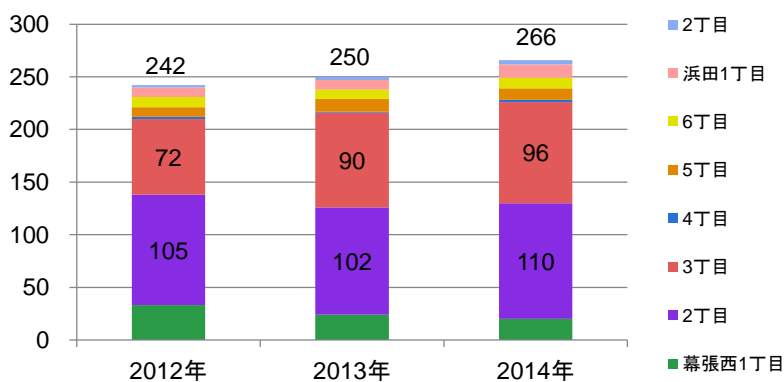
年齢構成比較 幕張西3丁目と浜田1丁目



出典:2010年国勢調査

一人暮らし高齢者の数

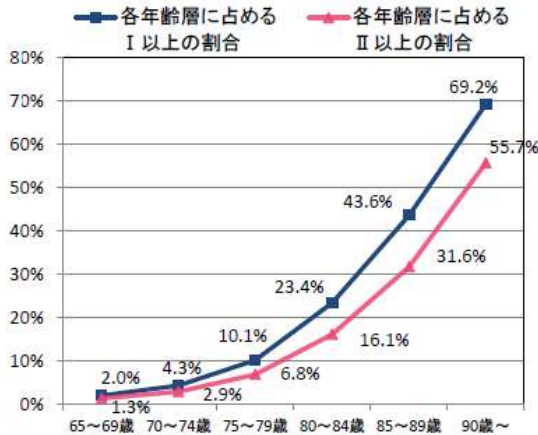
■ 一人暮らし高齢者の数は増加傾向



出典:2012～2014年度高齢者実態調査(千葉市高齢福祉課)
町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

認知症高齢者の増加

■年齢が上がると、認知症の割合が急増



I、IIは認知症高齢者の日常生活自立度

I：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

II：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

出典：2013年11月 要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査(東京都)

17

■認知症高齢者の割合は増加を続ける

全国の「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数は2010年で280万人、高齢者の9.5%。

2025年には470万人、高齢者の12.8%となる見込み。

2. 将来推計

(単位：万人)

将来推計(年)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)
日常生活自立度 II以上	280	345	410	470
	9.5%	10.2%	11.3%	12.8%

※平成24年(2012)を推計すると、305万人となる。

※下段は65歳以上人口に対する比率

【算出方法】

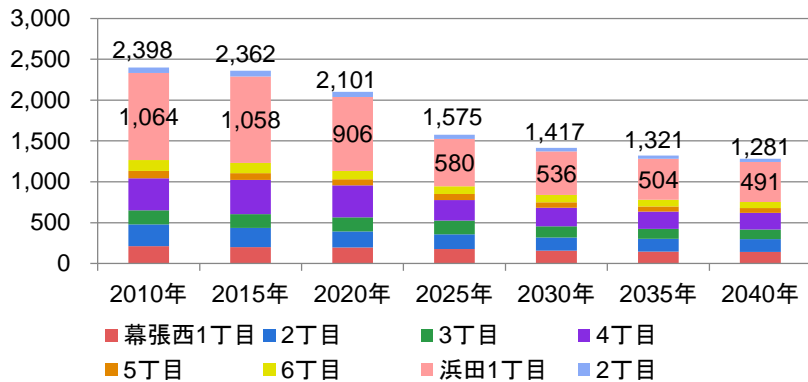
○将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所：H24.1推計。死亡中位出生中位)に、上記1の算出方法による平成22年9月の認知症高齢者割合を性別年齢階級別に乗じて推計した。

出典：「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数について
(厚生労働省)

18

子供の数の将来予測

- 子供の数は一貫して減少
- 2010年から2040年にかけて地区の子供は約半数に

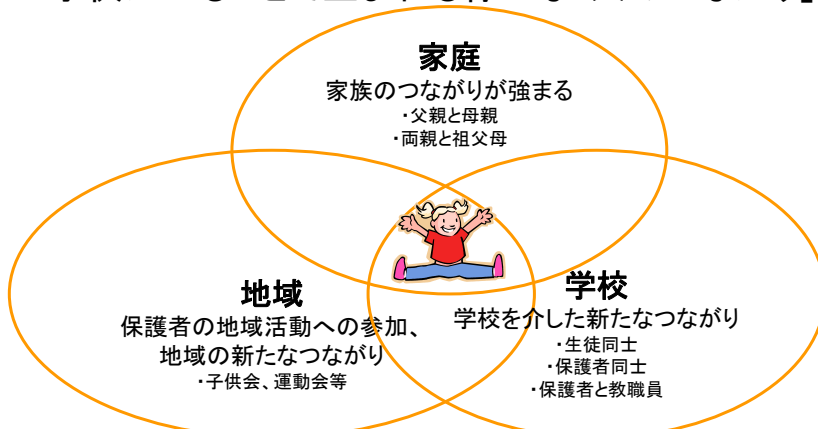


出典: 2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

19

少子化が地域に及ぼす影響

子供がいることで生まれる様々な「人のつながり」



子供の減少＝つながりの減少

(地域コミュニティの弱体化)

20

現在の土地利用

- 中央から西側にかけて大規模な戸建エリアが広がる
- 事業所等の占める面積が比較的大きい
- 地区内を東西に高速道路・水路が走る



01共同住宅
02戸建
03事業所等

出典：
2014年住宅地図をもとに
美浜区地域振興課作成

21

土地利用の変遷1

- 1976年(昭和51年)
高速道路なし、建物は幕張西1~3丁目のみ
- 1987年(昭和62年)
高速道路ができ、建物は幕張西4丁目に拡大
- 1991年(平成3年)
幕張5・6丁目に戸建ができる

01建物用地
02道路・道路用地
03田畑・森林
04海・川・湖
05河浜
06荒地
09その他の用地

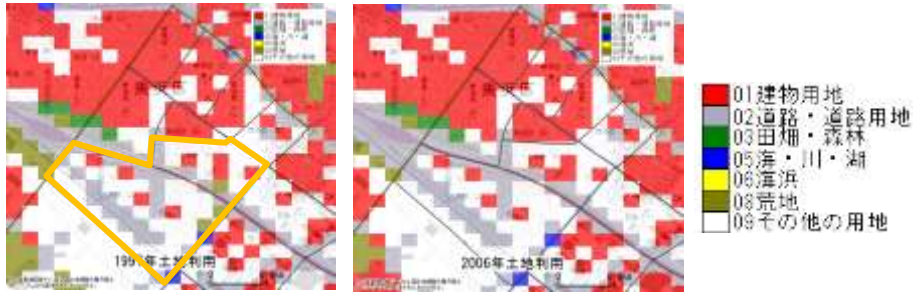


出典：国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ(国土交通省)

22

土地利用の変遷2

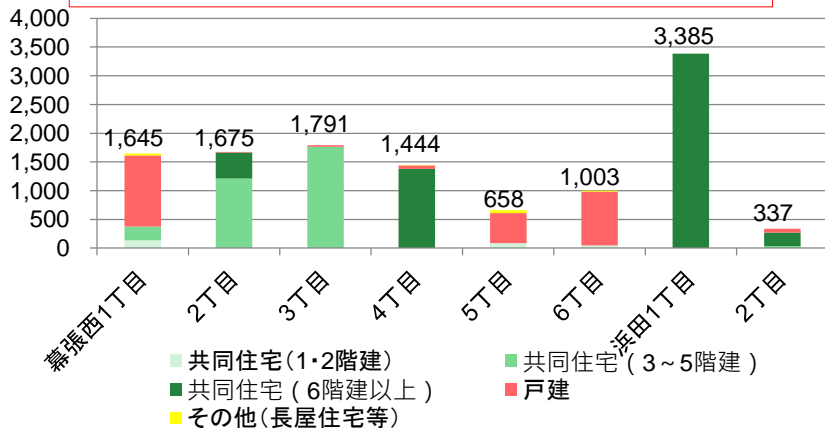
- 1997年(平成9年)
浜田1・2丁目に建物ができる
- 2006年(平成18年)
浜田1・2丁目等で建物が増える



出典:国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ(国土交通省)

住宅形態別人口

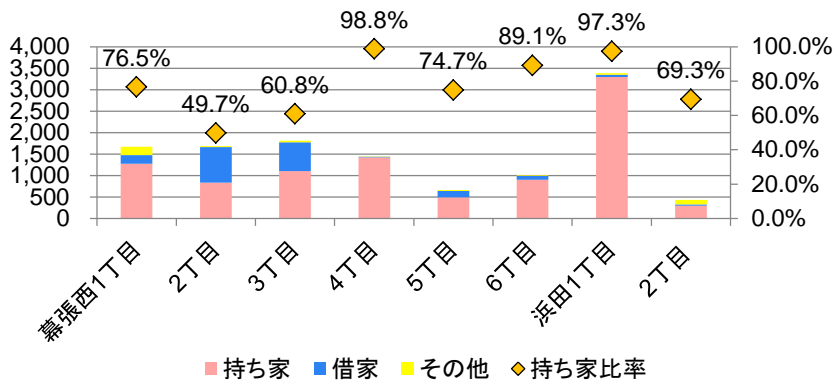
- 地区人口に占める割合は共同住宅が3/4、戸建が1/4
- 6階建以上の共同住宅が約半数
- 戸建は幕張西1丁目・5丁目・6丁目に集中



出典:2010年国勢調査 住宅の建て方別主世帯人員

住宅所有別人口

- 幕張西2丁目・3丁目は県営住宅(計648戸)があるため持ち家比率低め
- 幕張西1丁目・5丁目・浜田2丁目には、賃貸アパートや企業の社宅・寮があるため、持ち家比率は中程度



出典:2010年国勢調査 住宅に住む一般世帯人員

街頭犯罪発生状況

- 平成25年の幕張西地区の重点街頭犯罪件数は他地区より少ない(42件)
- 自転車盗が半数を占める
- 空き巣が6件発生
(幕張西6:3件、幕張西2・4・浜田2:各1件)



出典:平成25年町丁別重点街頭犯罪発生件数(千葉西警察署)

自治会結成状況

- 自治会・自主防災組織は、住宅のある地域のほぼ全てで結成済



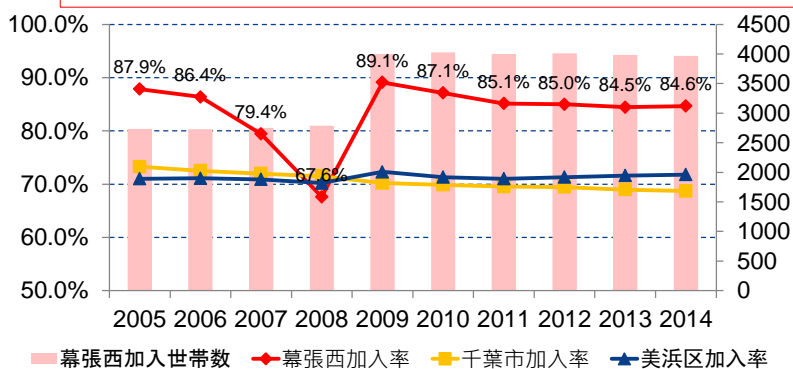
■ 自治会・自主防災組織
ともに結成済

■ 自治会のみ結成済

27

自治会加入率

- 市平均が70%程度、美浜区平均が75%程度であるのに対し、幕張西地区は概ね80%超と高い数値
- 2007年・2008年はマンション竣工等により一時的に落ち込むが、2009年には3自治会の新規結成により回復する

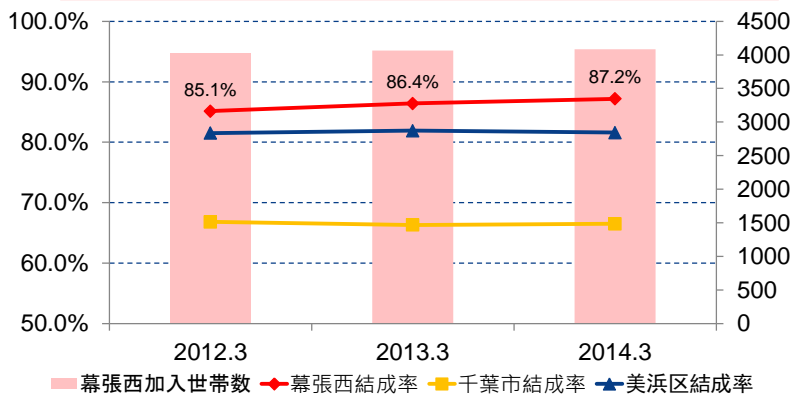


出典：2005～2014年度町内自治会のしおり(千葉市町内自治会連絡協議会)
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

28

自主防災組織結成率

■ 市平均が60%台であるのに対し、幕張西地区では85%超と高い数値となっている



出典：2011～2013年度末自主防災組織結成状況（美浜区地域振興課）
町丁別人口及び世帯数（千葉市統計課）

29

外国人比率



404人／12,185人
(3.3%)

- 共同住宅エリアは高く、戸建エリアは低い傾向
- 幕張西2・3丁目、浜田1丁目は比率高め
- 幕張西3丁目のみ増加傾向
(2012年3月末 64人
2013年 " 73人
2014年 " 78人
10月末 87人)

出典：2014年10月末
町丁別人口集計表
(美浜区市民課)

30

地域団体役員数

※美浜区が役員を把握している5団体のみを掲載しています。

地域団体	役員数	うち 兼務者数
地区町内自治会連絡協議会	14	13
青少年育成委員会	76	34
スポーツ振興会	19	9
民生委員児童委員協議会	15	13
社会福祉協議会地区部会	63	31

兼務状況

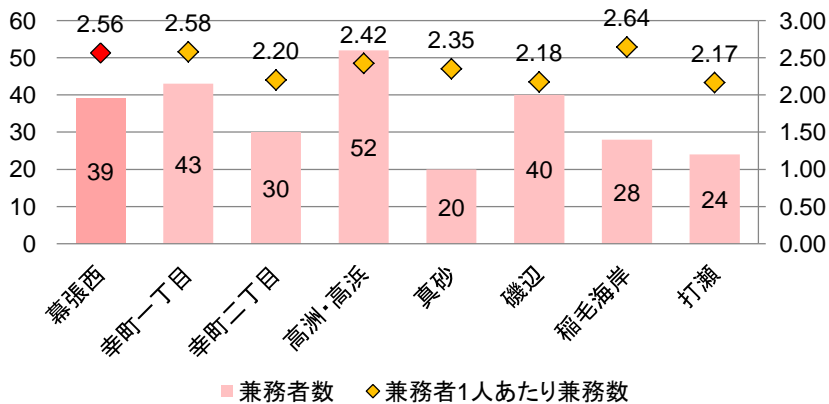
- ・兼務者数 39人
- ・兼務者1人あたり兼務数 2.56
- ・最大兼務数 4(2人)

出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

31

地区別 地域団体役員兼務状況比較

■ 兼務者1人あたりの兼務数は8地区中3位
→一部の担い手が様々な団体を支える傾向



出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

32

これまでの区連協・市連協要望

- 浜田2丁目から幕張西地区への歩道橋新設(平成24、25年度)



- 防災拠点や消防団員詰所の新設(平成24年度)

33

区から見た幕張西地区のイメージ



スポーツが盛んな地区



- 全自治会が参加する大運動会
- NPO法人幕張西スポーツクラブによる20種目を超える定期的な活動、HPでの広報(生涯スポーツ優良団体として、平成25年に文部科学大臣賞を受賞)

コミュニティづくり、健康寿命の延長につながるすばらしい取組

34

地区の課題

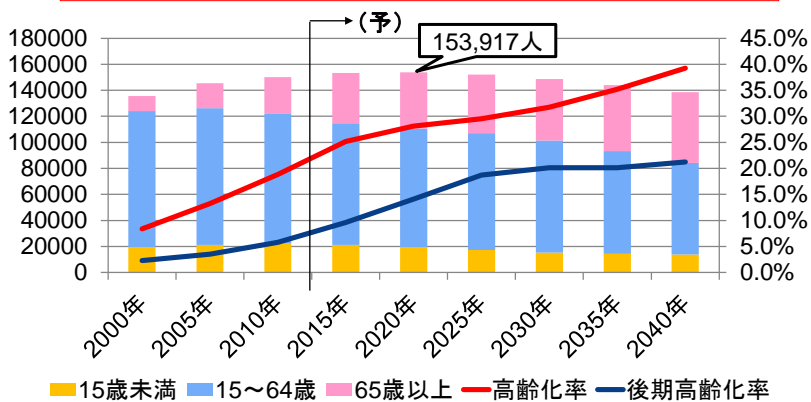
- 地域団体役員の担い手確保
- 災害時の避難経路、避難場所
- 2040年以降の急速な高齢化

35

【参考】

美浜区の将来推計人口・年齢別人口構成

- 区の人口は2020年の約154,000人をピークに減少
- 高齢化率は2010年の18.9%から2040年には39.3%に



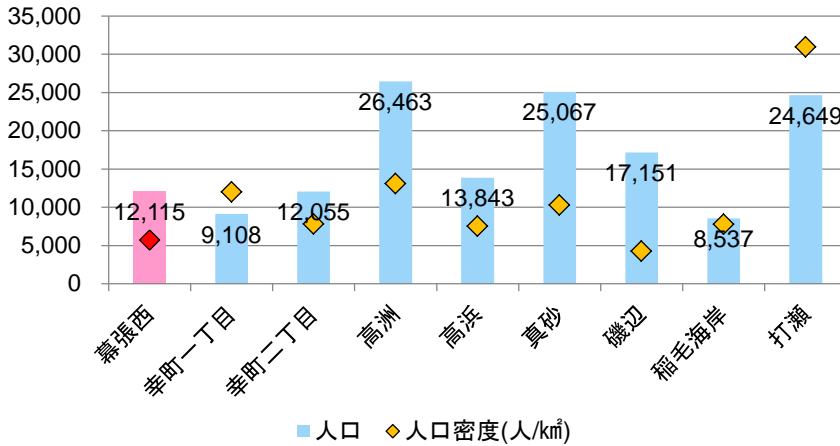
出典：2000年、2005年、2010年国勢調査
将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

36

【参考】

地区別 人口・人口密度

■ 人口密度は9地区中2番目に低い

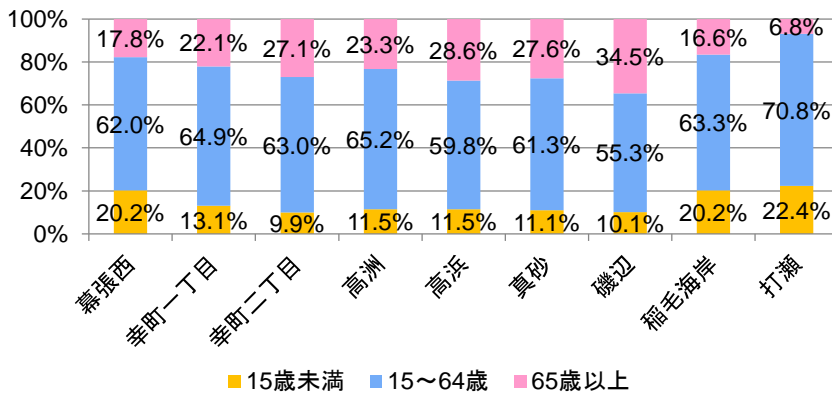


出典：2014年6月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

【参考】

地区別 年齢別人口構成比

■ 高齢化率は9地区中3番目に低い
■ 子供の構成比は2番目に高い

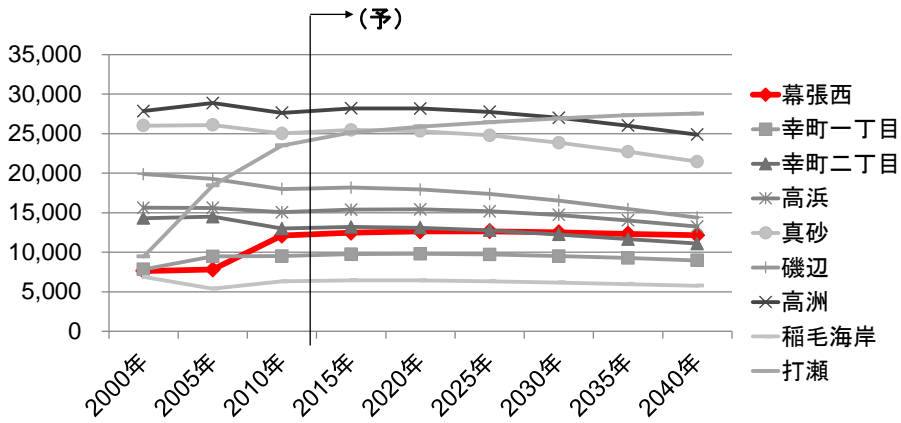


出典：2014年6月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

【参考】

地区別 将来推計人口

■ 人口はほぼ横ばいで推移



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)